

— SHAPE YOUR WORLD

APUでの——3年間 挑戦と成長の軌跡

Three Years at APU — Challenges & Growth

PRESENTED BY

工藤 利孔

立命館アジア太平洋大学 国際経営学部 3年生



Today's Agenda 本日も話しすること

PRESENTATION OVERVIEW · 15 MIN

■ CONTENTS

N° 1 なぜAPUを選んだのか WHY I CHOSE APU

N° 2 APUでの学生生活 全体像 THREE-YEAR OVERVIEW

N° 3 天空祭・プロジェクトBでの挑戦と挫折 CHALLENGES & SETBACKS

N° 4 転機 —— GASSでの成長 TURNING POINT AT GASS

N° 5 就職・将来の夢 BEYOND THE CAMPUS

N° 6 保護者の皆さんへ A MESSAGE TO MY FAMILY

APU · THREE-YEAR JOURNEY

はじめに — 自己紹介

About the Speaker

NAME

工藤 利孔 (Kudo Riku)

AFFILIATION

立命館アジア太平洋大学 APM (国際経営学部) 3年

HOMETOWN

東京 現在は 大分県 別府市 在学中

BACKGROUND

千早高等学校 卒 簿記・英語を中心に学習



3rd YEAR ・ APM

APUを選んだ理由 & APUという場所

What drew me to APU, and what kind of place it is.

MY BACKGROUND

商業高校での原体験

- 01 簿記・英語スキルを活かせると感じた
- 02 ベトナムのスタディツアー
- 03 APU生との湯布院フィールドスタディにて興味を持つ
- 04 キャンパス見学会で面白い大学だと感じ志望決定

ABOUT APU

APUの特徴 ― 一致感

100ヶ国の留学生
留学生の出身国

50%
日本人学生の留学率目安

別府
大分県・自然豊かな街

APM
経営学部 ― 実践重視

国際的環境 × 国際基準の経営における学び × 多様な学生活動

MATCH

商業高校の学び × APUの国際環境 = 私のAPU生活が始まりました。

3年間の活動タイムライン

A horizontal view of my three years at APU.

SEMESTER 1 ・ 前期

天空祭実行委員会 (ステージ部署)

学祭の企画立案から実行まで、
組織運営の全体像を学んだ。

SEMESTER 2 ・ 後期

プロジェクトB (有志団体・サブリーダー)

立ち上げに奔走。
挫折も味わうことに。

SEMESTER 3 ・ 前期～

学生団体GASS (OC企画運営)

1から学び直す覚悟で参加。
成長の転機が始まる。

SEMESTER 4 ・ 後期

ロサンゼルス インターンシップ

1ヶ月の米国滞在で
グローバルな肌感覚を得る。

SEMESTER 5 ・ 前期

ビジネス法務戦略SA ボーイスカウトAPU Rovers代表

教える立場 × 代表として
組織を動かす側へ。

1年
YEAR



2年
YEAR



3年
YEAR



1年生：天空祭実行委員 ステージ部署

My first taste of organizing a large-scale event.

01
企画立案
PLANNING

02
準備
PREP.

03
実行
EXECUTE

04
振り返り
REVIEW

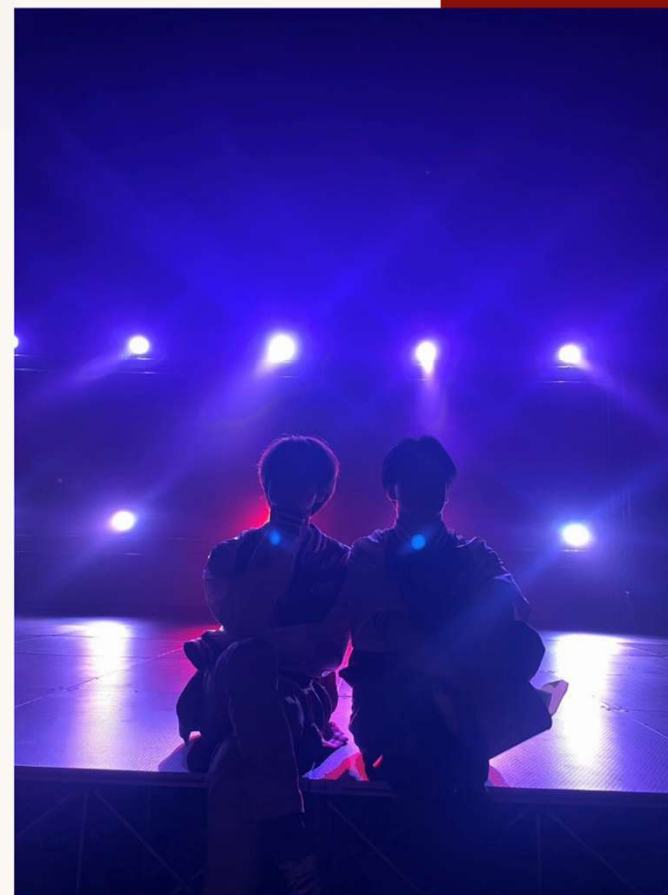
- 1 学祭「天空祭」のステージ部署で企画・運営を担当。
組織運営の流れを初めて体感。
- 2 「参加者がワクワクするためにどうするか？」
試行錯誤しながら企画を形に。
- 3 入念な準備の大切さ、任された仕事をやり切る重要性を学んだ。

INSIGHT

「準備に勝るものはない」—— 任された仕事の意味を、初めて知った1年。

TENKU FESTIVAL
STAGE TEAM

N°1
STAGE TEAM



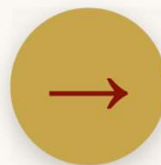
1年生後期： プロジェクトBへの挑戦

Where passion met purpose — and the gap in-between.

PASSION ・ AT THE START

仲間の熱意からはじまった

「自分たちで何かをやり起こしたい！」



REALITY ・ THE GAP

しかし、目的は定まらない。

- 01 APハウスや天空祭で集まった仲間
有志団体としての立ち上げ。
- 02 「何をやるか」が定まらないまま
目的より手段が先行してしまった。
- 03 メンバーの意見を聞きすぎ
軸がブレブレになり、活動が停滞。



REFLECTION ・ 1ST YEAR LATE

熱だけでは組織は動かない——「目的」と「手段」の順番を、身にしみて学びました。

挫折——自分の力不足を痛感

"リーダーシップ"が、足りなかった。

01/04

リーダーシップ
の不足

サブリーダーとして
引っ張る立場の未熟さ。

02/04

モチベーション
管理が機能せず

メンバーのやる気を
引き出せなかった。

03/04

タスク管理
が機能停止

各自のマイルストーンを設
計できていませんでした。

04/04

締め切りだけが
目的になった

完成度はズタボロでした。

転機 — ショックを受けていてもしょうがない！

ショックを受けていてもしょうがない！
ならば、1から学び直そう。

BEFORE ・ プロジェクトBでの自分

足りない自分 — *WHO I WAS*

- × 目的もタスクも設計できなかった
- × モチベーション管理も、リーダーも機能せず
- × 締め切りだけの仕事で完成度ゼロ



AFTER ・ GASSで目指す自分

鍛え直す自分 — *WHO I WILL BE*

- ① リーダーシップを実践で鍛えたい
- ② コミュニケーション力を伸ばしたい
- ③ タスク管理・任せ方を学びたい
- ④ 実践の場 —— GASSへ志望

GASSで得た3つの成長

Three muscles I trained at GASS.

COMMUNICATION N°1

初対面への対応力 —
コミュニケーション力の飛躍

初対面の来場者・メンバーへの対応を通じて、**自然体のコミュニケーション力**が身についた。言葉の選び方、表情、距離感 —— 「話す」より「聴く」を優先する技術。

TEAM ROLES N°2

任せて、やり切る —
チームでの役割遂行

任せる場面では任せる、自分でやる仕事はやり切る。ムードメーカーとして部署の空気を明るくし、チームの心理的安全性を育む役割を担った。

CRITICAL THINKING N°3

自分の意見を持つ —
批判的思考と多角的視点

団体の方向性が定まっているからこそ、その中で**自分の意見**を持ち、物事を多角的に見る力が育った。プロジェクトBで学んだ「軸の重要性」が活きた。

KEY MINDSET

- ★ **メリハリ** —— 楽しむ時は楽しむ、真剣にやる時はやる。
保護者より —— 「息子・娘をぜひAPUに通わせたい」 —— という声。それが、何よりの励みになった。

APUで影響を受けた授業

01

— COURSE

AIと社会

水上 拓哉 先生

— みずかみ たくや

近年におけるAIの進化や可能性、
倫理性・モラル・法律など、
多角的な視点から考察。
AIに対する教養を深める授業。

— MY TAKEAWAY

AIに対する可能性と恐怖 ——両方を覚えた最初の授業。

02

— COURSE

イノベーションマネジメント

平原 憲道 先生

— ひらはら のりみち

イノベーションを偶然性ではなく必然性により
引き起こすための授業。
過去の事例を調べ、共通点を分析。

— MY TAKEAWAY

「イノベーションが起きやすいか」という観点から物事を見られるようになった。

03

— COURSE

戦略的プロジェクトマネジメント

篠原 欣貴 先生

— しのはら よしき

組織においての、グループ内のモチベーションや、チームプロジェクトを円滑に進める方法を学術的に学びました。様々な考えの中で、一つのことを作り上げていく過程を学習しました。

— MY TAKEAWAY

タスクの分配、モチベーション管理 ——考えるきっかけになった授業。

挑戦と、— これからの自分

From Los Angeles to the next chapter.

WHAT I WITNESSED

米国で感じた "時代の変わり目"

!

アメリカの先進的なテクノロジー
絶対的な資本主義を、肌で感じた。

AI

AIによる新卒採用数の減少
何万人単位のリストラ —— 産業構造の転換点。

→

「人間である必要性」を再認識
創造性 × 判断力 × 問いを立てる力。



LOCATION ・ 2ND YEAR LATE

アメリカ
ロサンゼルス
Los Angeles, USA

1ヶ月の滞在型インターンシップ
グローバル資本主義の最前線を体感

NEXT ・ WHAT I'M AIMING FOR

これからの自分 —— IT業界 × 日本のDX推進

日本でもAIによる急速な変革が来ると実感。
「少ない時間に、どれだけ多くの良質なアウトプットができるか」——
が、これからの勝負。

AIについてAIに聞きながら学習中。

キャリアの方向性 —— IT系業界に興味、日本のDX化を推進できる人材
を目指す。

1ヶ月

LA インターンシップ

今

AI学習 × 就職活動

DX

日本のデジタル化を牽引

目指すカタチ — 自分の軸

The three axes that shape how I live and work.

常に成長
し続けること

Never stop growing

Nº1

自己分析と
改善のサイクル

Reflect, then improve.

Nº2

自分の幸せを
周囲に分けたい

Share the happiness outward.

Nº3



APU · THREE-YEAR JOURNEY



FINAL ・ IN SIGHT

3年半で気づいた、
一番大切なこと

一つひとつの弱みを潰していく こと。
でも、それは 挑戦しないとわからない。

自分の弱みと強みを分析し、弱みは潰し、強みは伸ばす

「挑戦なくして、気づきなし。」 この3つの経験（天空祭 → プロジェクトB → GASS）が、今の私をつくった。

● 天空祭 → ● プロジェクトB → ● GASS

保護者の皆さんへ

A message of gratitude to my family.

OPENING ・ TO YOU

「最後になりますが、
いつも、ありがとうございます。」

| *Thank you — for everything you've done for me.*

A LETTER ・ TO MY FAMILY

「いつも、ありがとうございます。」

自分がやりたいことをいつでも応援し、反対せずに見守ってくれる
家族への感謝。

東京から別府へ送り出してくれ、定期的に「必要なものはないか？
体調は大丈夫か？」と連絡をくれる —— その存在の大きさを、改
めて噛みしめています。

今の私があるのは、両親と友人皆さんの支えがあつてのことです。

| 「今後も精進してきますので、私の成長を温かく見守ってくださ
い。」

いつか、私の幸せを分け与えられるような人間になります。

—— 工藤 利孔

FIN · THANK YOU FOR LISTENING

— Closing Remarks —

ご清聴ありがとうございました

Thank you for your kind attention.

SPEAKER · APU 3RD-YEAR APM

工藤 利孔 — Riku Kudo

SHAPE YOUR WORLD

APU · THREE YEAR JOURNEY